第５学年２組　外国語科学習指導案

令和５年２月９日（木）
指導者　神田　彩英子
ALT　　Sean Koopman

１　**単元名**　Welcome to Japan. (NEW HORIZON Elementary Unit 7)

２　**単元の目標**

日本や松江についてよく知ったり，相手に松江市に来たいと思ってもらうために，日本や松江の四季や文化についての話を聞いて概要を捉えたり，自分が伝えたい松江の四季や文化について，伝えようとする内容を整理した上で話したりすることができる。また，自分が伝えたい松江の四季や文化について，音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書くことができる。

３　**関連する学習指導要領における領域別目標**

聞くこと	イ　ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと（発表）	ウ　身近で簡単な事柄について，伝えようとする内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア　大文字や小文字を活字体で書くことができるようにする。また，語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

※本単元における「聞くこと」「書くこと」に関しては，目標に向けて指導は行うが，記録に残す評価は行わない。

４　**基盤**

（１）教材観

本単元は，日本の四季や文化について扱う単元であり，日本の四季や文化などについて，自分の好きなものやその理由などを交えて説明をするという内容である。Why do you like～？やWhat do you do on　～？などの新出表現もあるが，その答えにあたる部分は，子どもたちが既習の表現などを使って，どう説明できるか思考を働かせ，工夫することができる内容になっている。また，既習表現を使って紹介することで，これまでの表現をスパイラルに学習することができる教材だといえる。

（２）児童観

本学級の子どもたちは，外国語の授業に意欲的で，友達や教師とのやり取り，歌やチャンツや外国文化の動画視聴などを通して，前向きに取り組む姿が見られる。分からないところがあると，お互いに教え合うような関係ができており，分からないことはみんなで考えようという雰囲気がある。英語を習っている子どもも複数名おり，英語運用能力の高い子どもたちが他の子どもたちにアドバイスする姿も見られる。

話すこと（発表）に関しては，自信のなさで声が小さくなったり，目線が下がったり，カタカナを書いた紙を用意したりしている子どももいたため，自信をもって話すことができるようにしていく必要がある。単元の中で表現を繰り返し使えるような活動を取り入れたり，付けたい力を明確に示した「がんばりシート」を用意したりし，子ども自身が何を身につければいいのか分かり，その表現に繰り返し慣れ親しむことができるよう支援している。また，UDL の視点を取り入れた言語活動を取り入れることで，外国語での学習に自信がもてない子どもたちや，外国語を得意とする子どもたちなど，様々な子どもたちに合った方法で支援し，より多くの子どもたちが目標を達成できるようにしている。

（３）指導観

本校の外国語科では，「自分のもっている力を駆使してコミュニケーションを図る子どもの育成」を目標に，①相手意識や目的意識が明確になる単元構想の工夫，②既習事項を用いて「その場で考えて伝え合う」活動の設定，③主体的な学びにつなげる見通しとふり返りの工夫に重点を置いて授業を実践している。

①　相手意識や目的意識が明確になる単元構想の工夫

今回は，子どもたちが学ぶ内容を身近に感じ，説明する必要感をもって取り組むことができるように，

日本ではなく，松江市の魅力について紹介することを単元のゴールに設定する。これは，本校の設定科目である未来創造科の学習で５年生が行っている「松江の魅力再発見」との関わりをもたせた内容である。4 月から学んできている未来創造科の学習と内容を関連付けることで，子どもたちの学びたい，表現したいという意欲をさらに高めることができると考えられる。また，発表の相手を台湾の小学生とし，オンラインでのやり取りも交えながら発表を行う。台湾の子どもたちが松江に来たくなるような紹介を目指すことで，目的・場面・状況を明確にし，相手意識を大切にしたり，相手に伝わるように内容や方法を工夫したりする力を身に付けることができるように指導していく。

② 既習事項を用いて「その場で考えて伝え合う」活動の設定

教科書を使い，日本の四季や文化などに関わる表現も学んでいくが，松江市のものに置き換えて表現ができるように，聞き取った中から松江市の魅力の紹介に使えそうだと思った表現を確認し，使えそうな表現リストを作成していくことで，子どもたちが伝えたい内容を考える際の一助となるようにしていく。子どもたちが自信をもって相手に伝えることができるように，単元を通して行事や観光地など話題を変えながら，繰り返し表現に慣れ親しむ活動を入れて授業を進めていく。

本時は，４時間目で，ALT の出身国であるアメリカの観光地や教師のおすすめの松江市の観光地について聞き取ったり言ったりする。今まで習ってきた We have～.や It’s～.や You can ～.などが使えることを確認し，観光地に関する言葉について学習する。言いたいことや難しい言葉がたくさん出てくることや，反対に何をどう言ったらいいか分からなくて困ってしまうことなどの学びの多様性が出てくることが予想される。そこで，UDL のオプションとして，いくつかの観光地の写真や使えそうな言葉を載せたワークシートやできることについて載せたヒントカードなどを用意し，子どもが選んで話すことができるようにする。英語運用能力の高い子どもたちは，自分で表現を考えたり，picture dictionary などを活用して考えたりすることもできるようにしたい。また，分からなかった言葉は ALT や教師に聞いたり，クラスでよい言い方がないか考えたりする場を設定し，英語運用能力の高い子どもたちが，よい言い方がないかアイディアを出す場面を作り，活躍できるようにしたい。難しすぎる言葉については，相手に伝わらないことや自分でも言いづらいことを確認し，簡単な言葉に言い換えをする良さにも気づくことができるようにしたい。次時以降には，子どもたちが自分で言いたい内容を考える活動となるため，本時は汎用性のありそうな語彙を増やしたり，紹介の表現に慣れ親しんだりして，定着へつなげる時間とする。

③ 主体的な学びにつなげる見通しとふり返りの工夫

1 時間目に台湾の小学生からのビデオレターを視聴する場を設け，「台湾の小学生に対し，松江市の魅力について紹介する」という単元ゴールを示し，見通しをもてるようにする。英語圏ではない国の人たちとも英語を通して交流ができることを確認し，子どもたちが英語を学ぶ意義を感じたり英語を使って紹介をすることに必要感をもったりしながら，意欲的に学ぶことができるようにする。また，1 時間目に「がんばりシート」を配布し，今回身に付ける表現や最後の活動の到達目標について確認をすることで，学ぶ内容にも見通しをもって取り組んでいけるようにしている。

毎時間，ふり返りシートや「がんばりシート」を使って，できたことやもっと頑張りたいこと，気付いたことなどについてふり返り，次時に頑張りたいことについて自分で目標をもつことを大事にしている。

５　単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと（発表）	〈知識〉 松江や日本の四季や文化（行事，食べ物，観光地など）に関する語句，Why do you like～?What do you do on～？ We have～.や It’s ～.You can ～.の表現について理解している。 〈技能〉 松江や日本の四季や文化（行事，食べ物，観光地など）に関する語句，Why do you like～?What do you do on～？We have～.や It’s ～.You can ～.などを用いて，考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	相手に松江市に来たいと思ってもらえる紹介をするために，自分の好きな松江や日本の四季や文化（行事，食べ物，観光地など）について，考えや気持ちなどを話している。	相手に松江市に来たいと思ってもらえる紹介をするために，自分の好きな松江や日本の四季や文化（行事，食べ物，観光地など）について，考えや気持ちなどを話そうとしている。

６　単元全体の流れ（全８時間　本時４／８）

時	目標◎　活動・【】	評価			
		知	思	態	評価規準<評価方法>
1	◎日本や松江の文化や四季などの言い方を知ったり，紹介の仕方を理解したりする。				
	【Let’s Watch and Think】 ・台湾の小学生からのビデオレターを見て，単元のゴールを知る。 【Starting Out】 ・日本の四季，文化の言い方・紹介のしかたを知る。 【Small Talk】 ・What do you have in Matsue? ・松江にはどんな魅力があるか話し合う。 【Let’s Sing】 ・Yokoso!を歌う。				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。
2	◎日本のものについて内容を聞き取ったり，松江市にあるものについて自分の考えや気持ちを言ったりすることができる。				
	【Let’s Sing】 ・Yokoso!を歌う 【Let’s Chant】 ・Why do you like winter? 【Let’s Listen１】 ・日本の遊びについて聞き取る。 【Teacher Talk】 ・教師やALTの先生の好きな松江のものやその理由について情報を聞き取る。 【Let’s　Try】 ・ペアや全体で好きな松江市のものや自分の考えや気持ちについて話す。 【Let’s Read and Write】 ・自分の考え，気持ちについて書き写す。				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。
3	◎日本の行事について内容を聞き取ったり，松江市の行事について行われる季節やできること，自分の考えや気持ちを言ったりできる。				
	【Let’s Sing】 ・Yokoso！を歌う 【Let’s Chant】 ・Why do you like winter? ・What do you do on New Year’s Day? 【Small Talk】 ・What event do you have in（季節）？ 教師やALTの好きな松江市の行事について情報を聞き取り，教師からの質問に答える。 【Let’s Listen3】 ・日本の行事について聞き取る。 【Let’s Try】 ・ペアや全体で松江の行事について，季節やできること，自分の考えや気持ちを話す。				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。
4 本時	◎松江市やアメリカの観光地について内容を聞き取ったり，松江市の観光地についてできることや自分の考えや気持ちを言ったりできる。				
	【Let’s Sing】 ・Yokoso！を歌う 【Let’s Chant】 ・Why do you like winter? 【Small Talk】 ・教師やALTの好きな観光地について聞き取る。教師からの質問に答える。 【Let’s Try】 ・ペアや全体で松江の観光地について，でできることについて話す。				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。

5	◎相手が松江市に来たいと思える紹介にするために，自分が伝えたい松江市の魅力について，考えや気持ち，できることなどを入れて話すことができる。				
	【Let’s Sing】 ・Yokoso!を歌う 【Let’s Chant】 ・Why do you like winter? 【Small Talk】 ・What Matsue’s culture do you like? 【Let’s Try】 ・ペアで紹介したい松江の魅力について伝え合う。 ・友達の話などを参考にしながら，自分が話したい内容について，話す内容や順番を日本語で簡単にメモしておく。 【Let’s write】 ・伝えたい松江の魅力について書く。		話		・相手に松江市に来たいと思ってもらえる紹介をするために，自分の伝えたい松江や日本の四季や文化（行事，食べ物，観光地など）について，考えや気持ちなどを話している。 【思・判・表】（行動観察・ふり返りカード点検）
6	◎相手が松江市に来たいと思える紹介にするために，自分が伝えたい松江市の魅力について，考えや気持ち，できることなどを入れて工夫して伝え合うことができる。				
	【Let’s Sing】 ・Yokoso！を歌う 【Teacher Talk】 ・ALT のスピーチのモデルトークを聞く。 【Let’s Try】 ・グループでお互いの発表を聞き合い，よりよくするためのアドバイスをする。 ・簡単なメモを作成する。	話			評価【話すこと（発表）】 ・松江や日本の四季や文化（行事，食べ物，観光地など）に関する語句，Why do you like～?，What do you do on～？，We have ～.や It’s ～.You can ～.の表現について理解したり，その表現を用いて伝え合ったりすることができる。【知・技】（行動観察）
7	◎松江市の魅力の発表の質を高めるために，情報を整理したり再構築したりし，伝えたい内容について書き写すことができる。				
	【Let’s Sing】 ・Yokoso！を歌う 【Let’s Chant】 ・Why do you like winter? 【スライド作り】 ・紹介のためのスライド作り ・書き写す作業 【Let’s Try】 ・完成したスライドを使い，グループで発表の練習をする。				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。
8	◎相手が松江市に来たいと思える紹介にするために，自分が伝えたい松江市の魅力について，考えや気持ちなどを入れて，伝えようとしている。				
	【Activity】 ・完成したスライド使い，オンラインで松江市の魅力についての発表をする。			話	・相手に松江市に来たいと思ってもらえる紹介をするために，自分の伝えたい松江や日本の四季や文化（行事，食べ物，観光地など）について，考えや気持ちなどを入れて伝えようとしている。 【主体】（行動観察・ふり返りカード点検）

7　本時の学習（4／8時間）

（1）目標

日本やアメリカの観光地について内容を聞き取ったり，松江市の観光地について，できることや自分の考えや気持ちを言ったりすることができる。

（2）展開

学習場面と子どもの取組	学びの多様性 （予想される困難さ・つまずき）	教師の支援
1　挨拶をする 曜日，日にち，天気，気分などを尋ねたり答えたりする。		
2　Let’s Sing and Let’s Chant （1）Yokoso！の歌を歌う （2）Why do you like winter?を声に出して言う。	・歌詞が分からず，自信がもてない。	・字幕再生にし，安心して声に出せるようにする。
3　Small Talk （1）　アメリカの観光地や松江市の観光地の紹介の仕方を聞く。 （2）松江市にある観光地について，先生からの質問に答える。 ・やっぱり，It’s～.とか，自分の考えや気持ちを言うと，おすすめなのが伝わる説明になると思うよ。 ・言いたいことはあるけど，どう言ったらいいのかな。確認して言えるようになりたいな。	・集中して話を聞くことが難しい。 ・意味を推測することが難しい。 ・内容は理解できたが合っているか自信がもてない。	・子どもが興味をもって話を聞いたり，意味を推測できたりするように，写真やジェスチャーなどを使って説明する。 ・内容を全体で確認し，ポイントをおさえることで，自信をもって取り組めるようにする。 ・使えそうな表現リストを見て，今までの表現が使えそうなことを確認し，めあてにつなげる。
4　本時のめあてを確認する。		
松江の観光地についてより分かりやすく伝えるために，考えや気持ち，できることを入れて話そう。		
5　Let’s Try （1）自分が紹介してみたい観光地について，言い方を考え，ペアで話す。 ・We have Yushien Garden in Matsue. You can see many flowers. It’s beautiful. ・We have Matsue castle. It’s cool. You can・・・「登る」ってなんて言うんだろう。 ・ヒントカードを見ようかな。 ・ワークシートの写真を見たら，言いたいことが思い浮かんだよ。 ・ワークシートに載っていないものについても言えそうだよ。	・どのような表現をどう使って言っていいか分からない。 ・どの観光地について話したらいいか決められない。 ・言いたいことがあるが，英語で何と言っていいか分からない。 ・ワークシートの例に挙げていないものについて話したいが，分からない。	オプション ① ワークシートの中から選ぶ ② 自分の紹介したい観光地を選ぶ ③ 掲示物の中から選ぶ オプション ① ワークシートの中にある表現 ② Picture Dictionary ③ ALT・教師に聞く ④ 友達に聞く ⑤ ワークシート内のクエスチョンボックスに書く ⑥ ヒントカードを使う
（2）言いたかったが言えなかったことなどを共有する。 ・長すぎたり，難しすぎたりする言葉は，自分も言うのが難しいし，相手にも伝わらないかもしれないよ。 ・○○さんが言いたいことは難しいけど，簡単に言い換えると，～と言えないかな。 ・「登る」の言い方が分からないよ。	・言いたいことがあるが，みんなの前で言うことが難しい。	・全体で言いにくそうな子どもには，個別に声をかけたり，クエスチョンボックスから取り上げたりする。

（3）（2）で確認したことを活かしながら，ペアを替えてやり取りを続ける。よい表現をしている友達の表現を知ったり，自分の表現を改善したりし，自分のやり取りに活かす。 ・〇〇さんは，You can を使って上手に説明していたよ。 ・同じ観光地でも違う説明があって真似したい人がいたよ。 6　ふり返り ・観光地の説明をするときにも，できることや自分の考えを言うと説明できると分かった。 ・考えや気持ちがスムーズに言えるようになったよ。 ・まだ言うことが難しいものがあるから，紹介するときには相手に伝わるように言えるようになりたいな。 ・You can を使えばいいことが分かったよ。	・よりよい表現で話したいが，どんな表現があるか分からない。 見届けの視点 観光地に関する語句や We have～.や It’s ～.You can ～.などを用いて，考えや気持ち，観光地で（季節に）できることなどについて，聞いたり言ったりしている。 【思判表】（ワークシート・行動観察）	・よい表現を取り上げたり，価値づけたりし，子どもたちがよりよい表現を使えるようにする。 ・ふり返りを紹介することで，今回できたことや次回への見通しなどをもてるようにする。

（3）見届けの視点

目標が達成されたと判断される状況	努力を要する状況への手立て
観光地に関する語句や We have～.や It’s ～.You can ～.などを用いて，考えや気持ち，観光地で（季節に）できることなどについて，聞いたり言ったりしている。 例：We have Matsue castle. You can go to the top. It’s interesting.など	言いたいことがわからない子どもには，まずは picture dictionary やワークシートなどを使って，ペアで確認するように声をかける。また，個別に声をかけ，一緒に考えたり，全体で共有して考えたりする。